

遺愛女子高等学校卒業生祝福礼拝が行われました！！

卒業礼拝式を翌日に控えた2月28日（月）AM9:10より高校卒業生祝福礼拝が講堂で行われました。

説教者は仙台の尚綱学院中学高等学校の宗教部主任の赤井 慧先生に御願いました。先生は、東北学院大学キリスト教学科ご出身で、尚綱に10年以上勤務されており、若手のホープです。これまで遺愛には数度いらしたことがありますが、遺愛でのメッセージは初めてでした。

説教題は『大切なあなたにずっと遺るもの』で、私には3つの言葉が特に印象深く残っています。1つめはヨハネによる福音書15章16-17節『あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ…』でした。私も翌日の卒業礼拝式で触れようと思っていた箇所です。この言葉はミッションスクールでは入学式で引用される聖句ですが、3年間過ごして「やはり私は神様に選ばれて遺愛に入学したのだ」と卒業式の時にしみじみと感じてくれば、とても有り難いと思っている言葉です。たぶん卒業生はどこかで支えられることがあると思っています。

2つめは『大川小学校』です。2019年度キリスト教学校教育同盟東北北海道地区教育研究集会中高部会で、当番校が尚綱学院中学校・高等学校の時に、巡検で赤井先生と共に東日本大震災で津波にのまれた石巻大川小学校に行きました。教職員を含めた大人の判断ミスで、助かる74名の児童の大切な命を失ってしまった重さを感じた場所でした。校舎から走って40秒で着く裏山に逃げずに、50分間も平地のグラウンドで待機させた後の事故でした。



赤井先生（右）

3つめは『匂い』です。卒業後もぜひ母校の懐かしい『匂い』を感じに戻ってきてほしいという言葉です。遺愛の本館は築114年です。今、修復工事中ですが、2年後の創基150周年には完了の予定です。その時には卒業生の皆さんにぜひ戻っていただいて、遺愛本館の懐かしい『匂い』を感じてほしいと思いました。

身近な具体例をあげ、ソフトな口調でお話しされるので、卒業生の心にしっかりとメッセージが刻まれていました。

2022年2月28日（月）